

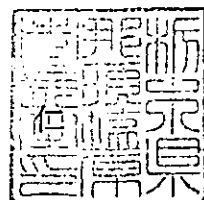


那塩道第692号

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 金井道夫 様

那須塩原市長 栗 川



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

仲秋の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本市は平成17年1月1日に1市2町が合併し、「人と自然がふれあうやすらぎのまち那須塩原」を将来像として誕生しました。

現在、新市建設計画を踏まえた市総合計画を平成19年3月に策定し、11万6千の市民が元気に安心して暮らし、将来に希望が持てるまちづくりに取り組んでいるところであります。

本市は、栃木県北部に位置し、清流那珂川と箒川に挟まれた緩やかな傾斜の扇状地で、JR東北本線、JR東北新幹線や国道4号、東北縦貫自動車道の西那須野塩原ICがあり、黒磯板室ICも整備中で、国土交通軸上に位置する交通の要衝としても発展しております。

また、市の面積は592.82km²と広範で、那須塩原、黒磯、西那須野の各駅を中心とした市街地が形成されているほか塩原温泉郷や板室温泉などの観光地を有しております。

これらの市街地拠点や観光拠点を連結し、地域の一体的発展や市民生活の向上、経済の活性化を図るには体系的な道路網の整備が必要であります。

つきましては、今後の道路行政についての私の意見を提出いたしますので、地方の現状をご推察いただき、今後とも本市の道路行政全般にご配慮を賜りますようお願いを申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

栃木県那須塩原市

○道路整備の必要性について

- ・道路整備の必要性は全国一律の基準ではなく、地域の産業や自然環境などの特性を踏まえ課題解決のための政策として議論されるべきものである。
- ・地方部における道路整備は、地域格差を解消し地域の振興や地方都市の再生を図るために必要な最大手段である。
- ・事業評価の最大の指標は、投資効果と原価（コスト）の割合だけでなく、住民及び利用者の満足度である。住民との懇談会で一番の要望の多いのは道路整備である。

○道路特定財源について

- ・地方都市における道路整備は一般財源を投入して行われており、今後も住民の要望にこたえるには財源の確保は必要不可欠である。したがって以下のことを要望します。

- ① 道路特定財源は確実に堅持すべきである。
- ② 補助率をアップすべきである。
- ③ 補助対象事業は高規格道路だけでなく、生活道路の整備や既存道路の修繕費などについても認めるべきである。

○現状	○課題
◆新しい都市構造への未対応 ・合併に伴って、新しい都市構造に対応した道路網としてネットワークが不十分である。 ◆主要幹線道路への交通の集中 ・市街地を通る一般国道４号及び４００号に広域的な通過交通が集中して交通混雑を起こしている。 ◆主要な幹線道路である都市計画道路の整備の遅れ ・都市計画道路の整備率は厳しい財政状況を反映して県平均を下回り、都市計画道路の整備が遅れている。 ◆鉄道や河川による地域分断 ・ＪＲ東北本線や那珂川、蛇尾川、箒川などの一級河川により地域分断があり、円滑な交通流動の妨げとなっている。 ◆分散している住宅地や市街地の拡大に対応した生活道路の整備の遅れ ・旧村から町その後市へと合併を繰り返して現在の市があるため、住宅地が分散しており、更に無秩序な市街地の形成により、身近な生活道路の整備が遅れている。 ◆自動車依存度が高く将来交通需要は変わらない ・地域の自動車保有台数は１．３１台／世帯であり、今後高齢化が進んでも自動車依存の傾向は継続するものと考えられ、将来交通需要は現況と変わらない見通しとなっている。	◆新しい都市構造に対応した道路整備 ・新たな都市構造の変化に対応し、一体的で均衡ある発展に貢献できる道路整備が必要である。 ◆通過交通の円滑な処理と分散 ・一般国道４号及び４００号に集中する交通量を分散し、円滑に処理する幹線道路の整備が必要である。 ◆未整備として都市計画道路の整備促進 ・現在計画されている未整備の都市計画道路の計画的かつ効果的な整備が必要である。 ◆踏み切りの改善や橋梁の整備による地域分断の解消 ・踏切部や橋梁部のボルトネックを解消するため、円滑な交通処理を可能とする道路網の整備が必要である。 ◆安全で快適な生活を確保する身近な道路の整備 ・分散している住宅地や拡大する市街地に対応して身近な生活道路の整備が必要である。 ◆バランスの取れた道路整備 ・将来交通需要は変わらないため、現在計画されている道路を着実に推進するとともに、新市の発展に貢献できるバランスの取れた効率的な道路整備が期待されている。 ・高齢化に対応した、バリアフリーな安全で快適な道路整備が求められている。

《基本方針》

①新たな都市構造に対応した一体的な骨格道路の形成

- ・広域拠点・地域拠点・観光拠点など分散した各拠点との連携及び交流を促進し、一体的かつ均衡ある発展に貢献する道路ネットワークを確立するための道路整備を促進する。
- ・あるべき将来都市像を実現していくために、広域交通に対応した新たな玄関口を整備し、都市的土地利用を誘導する先導的な道路基盤づくりを目指す。

②人にやさしい道づくり

- ・安全かつ円滑な都市交通を確保するため、ゆとりある道路空間を創出するとともに、利用する人の視点にたった人にやさしい道路整備を推進する。
- ・住民の暮らしの場として、使う側の立場に立った利便性を高める道路整備を推進する。

③環境負荷の小さい道づくり

- ・豊かな自然環境を有する那須塩原市にふさわしく、地球・地域・道路沿線のさまざまな環境に対する負荷の軽減を図るため、道路整備はもとより総合的な交通施策観点からの取り組みを行う。
- ・公共交通を支援する道路整備を推進する。

④豊かな自然環境を活かした個性的な道づくり

- ・将来都市像である「人と自然がふれあうやさぎのまち」に資するよう、これまで培われてきた那須野が原の景観・豊かな自然環境との共生に配慮した、個性的な道路整備を図る。

⑤整備効率を重視した道づくり

- ・厳しい財政運営の効率化を図るためにも、事業実施にあたっては、あらゆる補助メニューを模索するとともに、他の各種事業との組み合わせ等による財政負担を軽減させる総合的・効率的な取り組みを推進する。

⑥住民参加によるまちづくりと一体となった道づくり

- ・住民と行政が創意・工夫し実践するまちづくりには、道路の整備が不可欠であるため、地域にあった道路を支援する。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

栃木県那須塩原市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	一般国道4号 那須塩原市三区町～矢板市土屋地内	当区域は、混雑度が容量の1.8倍、夜間の騒音が約80dB、大型車混入率が53%と沿線住民には三重苦となっている。また、一級河川箒川で国道461号と合流し、ボトルネックを生じている。	○その他
水害等の災害に強い国土づくり	一般国道400号 下塩原バイパス	- 新たなルートを整備することにより、安全で円滑な通行を確保するほか、箒川の橋梁部における不足の事態に対して、東日本を支える大動脈の新たなルートを確保することができる。 - 当区域は、度重なる土砂崩れや異常気象時の全面通行止めなどが発生しており、市民生活や観光産業に多大な支障をきたしている。	
都市交通の快適性、利便性の向上	主要地方道西那須野那須線 那須塩原市上赤田～那須町高久甲地内	- 下塩原バイパスの整備により、災害に強い道路機能の確保が図れる。 - 当該路線は、那須塩原新市街地や黒磯市街地を通過し、西那須野塩原ICと那須ICを結ぶ都市計画道路で、沿線には工業団地や大型スーパーが立地しているため渋滞が著しい。 - このため未整備区間の早期完成により、両ICへのアクセスが向上し、安全で快適な通行が確保できるとともに、慢性的な渋滞を解消することができる。	